

主な議題は1月24日の平成21年双葉高等学校東京支部会の総会・新年懇親会の準備と役割分担、東京梅檀会会則（案）についてであった。

出席者24名（敬称略、順不同）：鈴木、西尾、蘭、高木、大井、富沢、加藤、市川、谷本、田中、渡辺、渡部、松倉、木幡、管浪、佐藤、柴、山田、池下、深沢、広島、松本、久保田

- 1) 福島県双葉高等学校同窓会東京支部（東京梅檀会）の資料に基づき、新年総会、懇親会のプログラムについて大井氏より説明ありほぼ承認。参加者予定は1月11日現在で94名だが、希望なのに未申し込みありで100名以上予定。

主な変更・加筆は4点。①総会司会を大井氏、懇親会司会を加藤氏にする。②事業部活動報告及び母校近況などをパワーポイントでおこなう。③原田直之氏の不出席、④還暦祝い；還暦の会員紹介と記念品（花）：対象（高18回卒）を新企画。
その他：囲碁部の報告牛渡氏の出席申し込みがないので、鈴木氏が確認する。

- 2) 当日準備の役割分担については、受け付け担当要点（案）に沿って市川氏より説明。当日準備委員は午前11時までに会場に集合（10時より入室可）。

主な役割担当：校旗（高木）、来賓及び参加者接待（鈴木、西尾、蘭）、来賓の応接室案内（久保田）、来賓接待（渡部）、会場設営チーフ（装飾・配置等：加藤）（パワポイント・スクリーン関連：藁谷）など。

役割付帯事項：

- ① 受付は市川氏を中心に高14回卒と高13回卒で主に行う。
（会が始まったら会場内入口へ受付を移し30分毎に交代）
- ② 受付時の会費：男性7000円、女性6000円、同伴者10000円、高50回卒以降2000円、新卒無料の5型とする。未納者の年会費2000円。領収書発行し記録する。
- ③ 配布資料の袋入れはフリーな役員全員が手伝う。
- ④ 名札（作成富澤氏）は従来のものを使用し、不足分を新規に作成（参加者記入）
- ⑤ 来賓の土産は市川氏が準備。
- ⑥ アトラクション関連準備は加藤氏中心。

- 3) 東京梅檀会会則案について大井氏より説明あり、ほぼ了解され、会則に沿って試行していくことが満場一致で承認された（試行状況をみて総会にかける予定）。

修正点は2点：①第5条の賛助会員の件で、賛助会員の項目は削除。希望者は会員とすることになった。②第2条の文章修正で「この会は関東在住の双高卒業者とし同窓会の親睦を深めることを目的とする」となった。

- 4) 高木幹事長より予算案の意見が出され、慣習としてきた会の運営のしかたについて論議された。予算書・決算書は相対するものとして不可欠とする高木案について、新聞作成の予算はどうなっているかと疑問する富沢氏、ボランティア活動の部分が大きかったとまとめる鈴木氏、どんぶり勘定の会運営だが関心が高まってきたので予算書が必要とする西尾氏など、多数意見が出された。が、インターネット・ホームページの活用による予算削減案、サラトの名簿の支出減についての意見など出され、予算案作成への方向性について異議はなかったものの、即作成実行という結論には至れなかった。名簿の個人情報保護に伴う会員獲得の減少、若者の同窓会離れなどからくる流動的な情勢と、ボランティア的しか進めない収入源であり、会の運営及び予算についての明確な予想がたてられないなどの躊躇がみられた。尚、予算作成に対し市川氏より別途建設的な意見書が添えられた。